令和３年度　1学期保護者会　あいさつ（1学年）

　1年生の保護者の皆様、こんにちは。本校校長の田村嘉則と申します。本日はお忙しいところ、ご来校いただきまして、ありがとうございます。先日の入学式から、1週間が経ったところですが、お子様のご様子、そしてご家庭におけるご家族の皆様の変化はいかがでしょうか。お子様におかれましては、まだまだ学校に慣れておらず、くたくたになって帰ってくるのではないでしょうか。新しい学校、新しい仲間、新しい先生、そして新しい活動を行いますので、はじめは戸惑ったり、疲れたりもするでしょうが、保護者の皆様にお願いしたいことは、転ばぬ先の杖であれこれ何でも先回りをして面倒を見るのではなく、見ていないようで、よく見守り、つまずいたり、転んだりしたときに絶妙なタイミングで手を差し延べることです。転ばぬ先の杖をいつまでも続けていたら、子供は何も成長しません。将来どんな人になってほしいかをまずよく考え、そのために今何をすべきかを考えてください。ここでキーワードを申しますと、「ベクトルを揃える」ということです。つまり、学校と保護者が同じ方向を向いて子供を指導するということです。学校が右と指導したことを保護者が左と言えば、差し引きゼロとなってしまいます。大切なことは、学校も保護者も同じ方向を向き、力を合わせることです。一般論ですが、何でもかんでも子供の言うことを鵜呑みにして、先生が悪い、友達が悪いと言ってくる保護者がいます。大人でもそうですが、子供は自分にとって都合の悪いことは言わないものです。先生に叱られた、友達と喧嘩をしたと聞いたら、それをご家庭でフォローすることが大切なのです。先生はきっと、あなたのことを考え、こういうことを言いたかったのではと。友達と喧嘩した時も、あなたにも悪かったところがあるはずでしょ。自分からそれを謝って、早く仲直りして、楽しく過ごせるようにしたらいいと思うわよと。これを学校がけしからん、友達やその親の教育がなっていないと保護者が子供の言うことに乗っかってしまったら、そこで子供の成長は止まります。そういう対応を、高校へ行っても、大学へ行っても、社会人になっても続けるのでしょうか。繰り返します、将来どんな人になってほしいかをまずよく考え、そのために今何をすべきかを考えてください。

　次に、新型コロナウイルスに関連したことですが、今年度は昨年度を踏まえ、感染防止対策を徹底したうえで、教育活動を昨年度よりも前に進めます。マスクを着用し、換気を十分に行い、手指の消毒をこまめに実践し、休み時間にベタベタくっつかなければ、感染のリスクはかなりのレベルまで下げることができます。本校はマスクをしない唯一の時間帯である、給食も誰一人話すことなく、前を向いて黙って食べています。従いまして、指導に従わずに、マスクを外していたり、ベタベタくっついていることに対しては、厳しく指導します。このことは子供の命を預かっている責任として毅然と指導いたします。むしろ、学校からご家庭への協力依頼になり恐縮ですが、ご家庭での感染の方がはるかに率が高いのです。御家族が外から持ち込んだウィルスをマスクをしない状態で食事をはじめとするコミュニケーションをとることで家庭内感染するのです。どうかご家族みなさんで、感染防止対策に努めていただきますようお願い申し上げます。

　次に部活動について申し上げます。部活動の顧問の教員には、校長の私から頭を下げて、生徒達への指導をお願いしているということをはじめに言っておきます。教員の勤務時間は、本校の場合、８:１０から１６：４０分です。従いまして、朝練習も午後練習の後半も、そして土日もすべて教員のボランティアで成り立っています。やってもらって当たり前ではないことをはじめに言っておきます。部活動とは授業以外の活動で学校生活に潤いや彩りを与えるものです。勉強だけやって、はい、さようならでは味気ないものですよね。もう少し正確に言えば、部活動は、まず社会性を身に付けることが一義的な狙いです。あいさつ、言葉遣い、先輩後輩の上下関係などです。それらに加えて、生涯学習と言いますが、生涯に渡り、運動に親しんだり、文化的な活動に親しむ豊かで潤いのある人生を送れる資質を養っている訳です。ですから、部活動においては、目的と目標をしっかりと区別して捉えていただきたい。目標は、分かりやすく言えば、試合に勝つこと。コンクールで入賞することです。目的は人間育成だということです。目標と目的を混同しないよう保護者の皆様にもお願いしたいと思います。なお、昔と違い、今はどの学校でも、平日１日と土日のどちらか一日は活動のない、いわゆる休みの日を作ることと決まっております。ただし、大会やコンクールの立て込む時期につきましては、土日の両日活動したり、場合によってはそれが少しの期間連続して続くこともあるかもしれません。しかし、大会やコンクールが終了した後にまとまった休みを取ることで、年間でトータルすれば、平日１日、土日どちらか一日は休みにしている状態になるよう計画的に活動するように指導していますので、ご承知おきください。

　次に学習について申し上げます。中学校での学習は、小学校での学習を土台に積み上げていくもので、それは高校3年生までつながっていきます。学ぶことが楽しくて仕方ない、もっともっと学びたい、となるのが理想ですが、現実的には、そこまでの域に達する者はそういるものではありません。また、広く、深く学習するためには、単語を覚えたり、公式を覚えたりすることも必要です。そこで、中学生にとって絶対的に必要となるものが家庭学習です。家庭学習をコツコツと毎日実践している者とそうでない者とでは、3年後は言うに及ばず、1学期の成績で早くも差が出始めます。また、やらされる家庭学習と、自分で考え実践する家庭学習かでもその効果が違ってきます。さらに昨今、ゲームやYouTubeばかりの子供は、字を読まないため、読解力が非常に低いことが指摘されています。ご家庭におかれましてもぜひ、家庭学習のみならず、読書を後押ししてくださいますようお願い申し上げます。

　最後に、本校のホームページについてお話します。本校では、教育活動をすべてオープンにすることが基本方針です。良いことも悪いことも個人情報に関わること以外はすべてオープンにします。基本的に毎日ホームページを更新し、各学年、各学級、あるいは各部活動でどのような授業をはじめとする教育活動を行っているかが分かるように情報発信いたします。また、日々のちょっとした連絡もトップページの掲示板を見れば分かるようになっています。お子様の、そしてお子様の通う学校の情報は、オープンになっていますので、どうか毎日チェックしていただき、情報は自分からキャッチするという姿勢でお願いします。

　本日は、このあと、学級担任から具体的な話があります。どうぞよろしくお願いいたします。

令和３年４月１５日　春日部市立飯沼中学校長

令和３年度　1学期保護者会　あいさつ（２学年）

　２年生の保護者の皆様、こんにちは。本校校長の田村でございます、2年目となります。本日はお忙しいところ、ご来校いただきまして、ありがとうございます。2年生へ進級し、１週間が経ったところですが、お子様のご様子はいかがでしょうか。中学2年生という学年は、3年間の中学校生活の中で、最も成長が著しい学年です。1年生はまだまだかわいいところもあったと思いますが、中学2年生ともなると、体も心も非常に大きく成長します。第2次成長期に差し掛かり、体の成長に心や頭が追い付かない子も出てきます。初潮や精通も多くの生徒が経験し、性への関心も非常に高まります。しかし、それは悪いことではありません。人生の先輩として大きな心、大きな立場で見守り、正しい知識を与えてください。

さて、生活面で、保護者の皆様にお願いしたいことは、転ばぬ先の杖であれこれ何でも先回りをして面倒を見るのではなく、見ていないようで、よく見守り、つまずいたり、転んだりしたときに絶妙なタイミングで手を差し延べほしいということです。転ばぬ先の杖をいつまでも続けていたら、子供は何も成長しません。将来どんな人になってほしいかをまずよく考え、そのために今何をすべきかを考えてください。ここでキーワードを申しますと、「ベクトルを揃える」ということです。つまり、学校と保護者が同じ方向を向いて子供を指導するということです。学校が右と指導したことを保護者が左と言えば、差し引きゼロとなってしまいます。大切なことは、学校も保護者も同じ方向を向き、力を合わせることです。一般論ですが、何でもかんでも子供の言うことを鵜呑みにして、先生が悪い、友達が悪いと言ってくる保護者も時としています。大人でもそうですが、子供は自分にとって都合の悪いことは言わないものです。先生に叱られた、友達と喧嘩をしたと聞いたら、それをご家庭でフォローすることが大切なのです。先生はきっと、あなたのことを考え、こういうことを言いたかったのではと。友達と喧嘩した時も、あなたにも悪かったところがあるはずでしょ。自分からそれを謝って、早く仲直りして、楽しく過ごせるようにしたらいいと思うわよと。これを学校がけしからん、友達やその親の教育がなっていないと保護者が子供の言うことに乗っかってしまったら、そこで子供の成長は止まります。そういう対応を、高校へ行っても、大学へ行っても、社会人になっても続けるのでしょうか。繰り返します、将来どんな人になってほしいかをまずよく考え、そのために今何をすべきかを考えてください。

　次に、新型コロナウイルスに関連したことですが、今年度は昨年度を踏まえ、感染防止対策を徹底したうえで、教育活動を前に進めます。マスクを着用し、換気を十分に行い、手指の消毒をこまめに実践し、休み時間にベタベタくっつかなければ、感染のリスクはかなりのレベルまで下げることができます。本校はマスクをしない唯一の時間帯である、給食の時間、誰一人話すことなく、前を向いて黙って食べています。むしろ、学校からご家庭への協力依頼になり恐縮ですが、ご家庭での感染の方がはるかに率が高いのです。御家族のうちの誰かが外から持ち込んだウィルスをマスクをしない状態で食事をはじめとするコミュニケーションをとることで家庭内感染するのです。どうかご家族みなさんで、感染防止対策に努めていただきますようお願い申し上げます。今年は、５月の体育祭もスキー教室も感染防止対策を十分に検討しながら、計画を進めています。あとは社会情勢がどうなるか次第です。社会情勢を安定したものにするためには、自分だけ、我が家だけという身勝手な感覚をすて、当面は不要不急の外出や外食を控えることが必要だと考えます。

　次に学習について申し上げます。学校の授業というものは、全国共通の時間数で、文部科学省の検定を受けた教科書を使って指導します。内容も、教え方もよく研究されていますので、受ける側がよく集中して取り組めば、効率よく学習内容を身に付けることができます。しかし、それにもかかわらず、どうして各個人で学力の差が出るのでしょうか。一番の大きな理由は、私は家庭学習の取り組ませ方にあると考えます。中学生になったら毎日机に向かわなければ、学力テストの点数に関しては、良い結果は望めません。よく家庭学習はどのくらいの時間やればよいのかという質問がありますが、個人差がありますので一概には言えませんが、一般的に考えれば、最低ラインで言えば、学年の数字はやってほしいものです。つまり、２年生ですので２時間はやってください。これには塾の時間も含まれます。週に２日塾に通っている生徒がいたら、残りの５日は家で２時間の家庭学習をしないと、他の生徒との相対的な学力はおいて行かれます。勉強は量より質という考え方もあり、確かにその通りではありますが、中学１、２年生に質を求めるのは難しいので、まずは目安となる量を定めて、塾のある日は家でさらに１時間、塾のない日は２時間など時間を決めて取り組ませるのがよいと思われます。さらに昨今、ゲームやYouTubeばかりの子供は、字を読まないため、読解力が非常に低いことが指摘されています。ご家庭におかれましてもぜひ、家庭学習のみならず、読書を後押ししてくださいますようお願い申し上げます。

最後に、本校のホームページについてお話します。本校では、教育活動をすべてオープンにすることが基本方針です。良いことも悪いことも個人情報に関わること以外はすべてオープンにします。基本的に毎日ホームページを更新し、各学年、各学級、あるいは各部活動でどのような授業をはじめとする教育活動を行っているかが分かるように情報発信いたします。また、日々のちょっとした連絡もトップページの掲示板を見れば分かるようになっています。お子様の、そしてお子様の通う学校の情報は、オープンになっていますので、どうか毎日チェックしていただき、情報は自分からキャッチするという姿勢でお願いします。

　本日は、このあと、学級担任から具体的な話があります。どうぞよろしくお願いいたします。

　　　　　　令和３年４月１５日　春日部市立飯沼中学校長

令和３年度　1学期保護者会　あいさつ（３学年）

　３年生の保護者の皆様、こんにちは。本校校長の田村でございます、2年目となります。本日はお忙しいところ、ご来校いただきまして、ありがとうございます。お子様が、３年生へ進級し、１週間が経ったところですが、ご様子はいかがでしょうか。中学３年生という学年は、3年間の中学校生活の中で、全てのことが集大成となる学年です。学校の主役として、立派な姿を保護者や地域の皆様、そして後輩たちに見せるてくれる、部活動や学校行事など、その年度を象徴する生徒達なのです。また、義務教育の最後の学年として、将来の生き方を考え、その実現のための卒業後の第一歩を考える年でもあります。昨年度の３年生の話をしますと、毎年１１月頃から、３年生一人一人と校長室で面接を行います。そこで、昨年度の三年生は、多くの生徒が将来のことをきちんと考えていることに驚き、頭の下がる思いがしました。学力テストの偏差値だけで高校を決めるのではなく、まず、将来の自分を想像し、なりたい自分の像を描きます。結構な人数がいた職業は、医療や福祉関係でした。保護者や祖父母の働く姿を尊敬のまなざしで見て育ち、自分も将来そうなりたいと。そのための第一歩として、中学卒業は、このように考えていますとしっかりと自分の考えを言える生徒がたくさんいました。今年の３年生はどうでしょうか。まだ４月、まだ１学期と考えていたら、時間はどんどん進んでしまいます。焦ったり、保護者がせっついたりする必要はありませんが、機会をみて、保護者や担任と相談する場を設定することが必要です。保護者の皆様におかれましては、自分の時と違って入試の制度が分からないではなく、自分で情報を収集し、調べておくことが必要となりますのでよろしくお願いします。

次に生活面で、保護者の皆様にお願いしたいことは、転ばぬ先の杖であれこれ何でも先回りをして面倒を見るのではなく、見ていないようで、よく見守り、つまずいたり、転んだりしたときに絶妙なタイミングで手を差し延べほしいということです。転ばぬ先の杖をいつまでも続けていたら、子供は何も成長しません。将来どんな人になってほしいかをまずよく考え、そのために今何をすべきかを考えてください。ここでキーワードを申しますと、「ベクトルを揃える」ということです。つまり、学校と保護者が同じ方向を向いて子供を指導するということです。学校が右と指導したことを保護者が左と言えば、差し引きゼロとなってしまいます。大切なことは、学校も保護者も同じ方向を向き、力を合わせることです。一般論ですが、何でもかんでも子供の言うことを鵜呑みにして、先生が悪い、友達が悪いと言ってくる保護者も時としています。大人でもそうですが、子供は自分にとって都合の悪いことは言わないものです。先生に叱られた、友達と喧嘩をしたと聞いたら、それをご家庭でフォローすることが大切なのです。先生はきっと、あなたのことを考え、こういうことを言いたかったのではと。友達と喧嘩した時も、あなたにも悪かったところがあるはずでしょ。自分からそれを謝って、早く仲直りして、楽しく過ごせるようにしたらいいと思うわよと。これを学校がけしからん、友達やその親の教育がなっていないと保護者が子供の言うことに乗っかってしまったら、そこで子供の成長は止まります。そういう対応を、高校へ行っても、大学へ行っても、社会人になっても続けるのでしょうか。繰り返します、将来どんな人になってほしいかをまずよく考え、そのために今何をすべきかを考えてください。

　次に、新型コロナウイルスに関連したことですが、今年度は昨年度を踏まえ、感染防止対策を徹底したうえで、教育活動を前に進めます。マスクを着用し、換気を十分に行い、手指の消毒をこまめに実践し、休み時間にベタベタくっつかなければ、感染のリスクはかなりのレベルまで下げることができます。本校はマスクをしない唯一の時間帯である、給食の時間、誰一人話すことなく、前を向いて黙って食べています。むしろ、学校からご家庭への協力依頼になり恐縮ですが、ご家庭での感染の方がはるかに率が高いのです。御家族のうちの誰かが外から持ち込んだウィルスをマスクをしない状態で食事をはじめとするコミュニケーションをとることで家庭内感染するのです。どうかご家族みなさんで、感染防止対策に努めていただきますようお願い申し上げます。今年は、５月の体育祭も９月の修学旅行も感染防止対策を十分に検討しながら、計画を進めています。あとは社会情勢がどうなるか次第です。社会情勢を安定したものにするためには、自分だけ、我が家だけという身勝手な感覚をすて、当面は不要不急の外出や外食を控えることが必要だと考えます。

　次に学習について申し上げます。学校の授業というものは、全国共通の時間数で、文部科学省の検定を受けた教科書を使って指導します。内容も、教え方もよく研究されていますので、受ける側がよく集中して取り組めば、効率よく学習内容を身に付けることができます。しかし、それにもかかわらず、どうして各個人で学力の差が出るのでしょうか。一番の大きな理由は、私は家庭学習の取り組ませ方にあると考えます。１、２年生と違い、３年生はもう待ったなしの学年です。進路先を考えることと並行して、とにかく勉強に打ち込まなければなりません。この１学期中に、１、２年生の学習内容の復習と３年生の１学期の学習を並行して取り組み、力を蓄える必要があります。そして、さらに夏休みに受験を意識した学習まで掘り下げます。また、昨今の入試問題は、これまでの、塾でやり方を反復したり、参考書の問題ができれば良いというものではなく、読解力が問われたり、自分の考えを説明したり、資料を分析したりする能力を問う問題が散見されるようになりました。生きて働く学力を試しているのです。日頃からゲームやYouTubeばかりで本を読まない生徒は、読解力が不足しています。今からでも遅くはありませんので、ご家庭で本を読む時間を意図的につくったり、新聞を読ませたりする習慣をつけていただきたいと思います。

最後に、本校のホームページについてお話します。本校では、教育活動をすべてオープンにすることが基本方針です。良いことも悪いことも個人情報に関わること以外はすべてオープンにします。基本的に毎日ホームページを更新し、各学年、各学級、あるいは各部活動でどのような授業をはじめとする教育活動を行っているかが分かるように情報発信いたします。また、日々のちょっとした連絡もトップページの掲示板を見れば分かるようになっています。お子様の、そしてお子様の通う学校の情報は、オープンになっていますので、どうか毎日チェックしていただき、情報は自分からキャッチするという姿勢でお願いします。

　本日は、このあと、学級担任から具体的な話があります。どうぞよろしくお願いいたします。

　　　　　　　　　　　　　　　令和３年４月１５日　春日部市立飯沼中学校長

４月１５日の保護者会における校長あいさつ文です。学年主任や担任の話と重複したり、相反する内容とならないようにお願いします。